

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 茨城県龍ヶ崎市
 本事業の担当部局名 総合政策部まちの魅力創造課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	3.2.2 地域全体で結婚_子育て、子育てと仕事の両立と多様な働き方を応援する気運醸成						
個別事業名	職業体験イベント「たつのこワクワクワーク」				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和4年度
総事業費(A)(円)	5,435,452		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	5,435,452
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	5,169,802						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	5,435,452	0	0	0		5,435,452
	対象経費支出予定額	5,169,802	0	0	0		5,169,802
	対象外経費支出予定額	265,650	0	0	0		265,650
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 本市は2010年をピークに人口減少に転じており、若者世代の転出超過及び婚姻数の減少により少子化が進行している。このような中2022年に本市のまちづくりの方向性を示す「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」を策定した。本ビジョンでは、「子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり」を政策の柱の一つに掲げ、出会い、結婚、出産、子育てに対する切れ目のない重層的な支援を実施している。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本市は、人口減少と若者の転出超過が続く中、出会い・結婚・出産・子育てまでを切れ目なく支える少子化対策を展開しており、「たつのこワクワクワーク」は「地域全体で子育てを応援する気運醸成」の核となる事業に位置付ける。こどもの職業体験を契機に、協力事業者が子育て世帯を応援する取組を「見える化」し、市民に対して地域全体で支え合う機運の醸成を図る。併せて、仕事と子育ての両立や多様な働き方への理解が広がるよう、協力事業者の取組・メッセージ等の周知を行い、本市における子育てに温かい社会づくりを推進する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	多世代・多様な主体が参画する職業体験の実施	20事業者程度の協力を得て、親子を対象とした職業体験を実施する。実施に当たっては、令和7年度までの参加親子を「たつのこワクワクワーク・サポーター」として運営側に巻き込み、参加する側から応援する側へのステップアップを促すことで、地域全体で子育てを応援する機運の醸成を図る。地域の足となる関東鉄道の竜ヶ崎線やバスのお仕事体験を実施するにあたり、車両を貸切って車掌体験、エンジン始動体験等を行い、地域資源としての鉄道・バスの魅力や役割について理解を深め、地域への関心や愛着の醸成を図る。				
	2	「秋のこどもまんなか月間」における地域の子育てを応援する機運醸成に向けた取組	11月の「秋のこどもまんなか月間」に職業体験イベント「たつのこワクワクワーク」運営業務で実施した取組を活かし、地域全体で子育てを応援する気運の醸成を図るとともに、“仕事”に触れることで将来的な子育てと仕事の両立や多様な働き方を考えるきっかけづくりの場を提供する。(事業イメージ:写真パネル展など) 取組は、こどもとその保護者が参加しやすく、本事業を広く効果的にアピールできるものとする。なお、プロポーザルにて業者決定のため内容については詳しく決まっておりません。				
3	担い手形成(サポーター制度)の運用	令和8年度の参加者(親子)を対象に、「たつのこワクワクワーク・サポーター」登録の受付を行う。受付にあたっては、①令和9年度の募集広報への協力、②当日運営補助(ボランティア等)、③協力事業者の応援・紹介(周知)等の役割を設定し、継続的な参画を促す。また、協力事業者は、※「たつのこ子育て応援の店」への登録を促し、当該事業への協力だけに留まらず、地域での子育てを応援する事業者へステップアップを図る。 ※おむつ替えや授乳の場、ミルク用お湯の提供など					

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

本イベントは、事後アンケートにおいて参加者の満足度が高く、地域資源(市内事業者・仕事)への関心喚起に一定の効果が認められる。一方で、体験当日で完結しやすく、参加者(親子)・協力事業者・市民へと波及させる「応援の連鎖(気運醸成)」が十分に可視化できていないことが課題である。

このため、令和8年度は、以下の取組を展開し、ステップアップを図る。

- ①令和8年度の参加者(親子)が令和9年度の「たつのこワクワクワーク・サポーター」として参画できる導線(登録・役割付与・活動機会の提供)を整備し、参加者が“参加する側”から“応援する側”へ転じる仕組みを構築する。
- ②「秋のこどもまんなか月間」に合わせ、市内2か所でパネル展を開催し、参加者の感想・気づき、協力事業者の取組・コメントを双方向に掲示することで、地域全体で子育てを応援する気運の醸成を図る。
- ③観覧者アンケートにより、認知度・共感度・応援行動意向等を調査し、令和9年度の参画(サポーター登録、協力事業者の継続・拡大)につなげる。
- ④上記アンケート等を踏まえ、令和9年度の内容・広報・協力事業者の募集方法等に反映し、事業の改善(PDCA)を図る。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	「住み続けたい」と感じる市民の割合(18歳～39歳)		%	79 (R8年)	80.8 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			0.98 (R5年)	
	婚姻件数		件	204 (R6年)	
	婚姻率			2.7 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	参加者	人	300 (R8年度)	275 (R7年度)
	②	実施事業者数	者	20 (R8年度)	19 (R7年度)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100 (R8年度)	98.2 (R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	地域全体で子育てを応援していると感じる割合	%	60 (R8年度)	---
⑤	たつのこワクワクワーク・サポーターになりたいと思った割合	%	30 (R8年度)	---	
⑥	協力事業者が「たつのこ子育て応援の店」に登録した割合	%	90 (R8年度)	---	
⑦					
⑧					